



2023年11月10日

各位

会社名 イーレックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 本名 均
(コード番号：9517 東証プライム市場)
問合せ先 常務取締役 安永 崇伸
(TEL. 03-3243-1167)

中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、「2023年5月12日に公表しました「2024年3月期－2026年3月期 中期経営計画」における計画数値を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

(注) 下記の業績予想及び配当予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の配当及び業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

記

1. 中期経営計画における2025年3月期及び2031年3月期の計画数値の修正

(1) 計画値の修正の内容

(単位：百万円)

連結	2025年3月期 (当初計画)	2025年3月期 (修正計画)	2031年3月期 (当初計画)	2031年3月期 (修正計画)
売上高	242,300	200,000	510,000	535,800
営業利益	7,700	4,780	—	—
経常利益	9,000	4,300	25,000	60,200
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,100	2,800	—	—

(2) 修正の理由

当初の計画においては、小売需要に対して十分な相対契約電源を確保し、JEPXの価格上昇時には一定の利益が生じることを前提としておりましたが、今回の計画においては、JEPX価格の変動による影響を極小化することを前提としております。具体的に



は、2022年度に調達した割高の電力の契約が満了し調達が安定化する事や、2025年3月期は、市場連動を軸とした販売メニューの割合が大宗を占める計画であることなどを踏まえ、JEPX 価格の変動に大きな影響を受けずに安定的な収益を確保する計画へと見直しを行いました。また、当社グループの糸魚川発電所の発電コストについては、世界的な石炭価格の低減を反映するなど、足元の経済情勢を鑑み、売上高及び利益について見直しを行ったものです。

まず、当社の成長と同時に、より収益性を高めるために、経営の変革を図ってまいります。具体的には、現下の経営課題に対処するための社内組織の見直しを行うとともに、国内の収益基盤の安定化に取り組んでまいります。

今後、新たな成長に向けた海外事業の展開、とりわけ、ベトナム、カンボジアを中心とした東南アジア諸国でバイオマス事業を本格的に展開して参ります。こうした取組は、脱炭素という地球規模の課題の解決や、東南アジア諸国における所得向上等の社会的課題へのソリューションとしても意義の高いものと考えております。

足元の収益基盤を確保しながら、社会に貢献する事業展開により成長し、企業価値を高めてまいります。

以上